

- 1 案 件 名：「兵庫県立西宮病院と西宮市立中央病院の統合再編基本計画（案）」
- 2 意見等募集期間：令和元年12月17日（火）～令和2年1月16日（木）
- 3 意見等提出件数：121件（70人・1団体）
- 4 意 見 等：①統合再編方針（8件）、②新病院の診療機能等（6件）、③診療規模・体制（32件）  
④部門別基本計画（15件）、⑤情報システム・医療機器整備計画（1件）、⑥建物整備計画（37件）  
⑦整備スケジュール（1件）、⑧現病院の資産活用（9件）、⑨その他（12件）
- 5 対 応：①本文の趣旨に一致（19件）、②今後の検討課題（74件）、③対応困難（17件）、④その他（11件）

項目	意見等の概要	件数	県市の考え方
<b>1 統合再編方針（8件）</b>			
	西宮市には、様々な病気に関する専門の民間病院も多くあるが、市民・県民の命の最後の砦として、高度な医療を提供する県立病院には重要な役割がある。この度の統合再編の考え方、基本方針に賛同する。基本計画（案）に従って、民間病院との役割分担のもと、医療機能の充実はもとより、医療技術者等の教育・研修や先進医療等への対応を図って欲しい。地域の中核となる病院となることを期待している。	1	【本文の趣旨に一致】 ご意見を踏まえ、基本計画に基づき、両病院の統合再編を推進し、患者により良い医療を提供できるよう整備を進めます。（本文P20, 21）
	県立加古川医療センターの移転整備に際し、いろいろ苦勞させられた。今度の統合がどうなるか分からないが、不安材料はいっぱいである。患者のための医療に徹して欲しい。	1	
	公立病院としての役割を果たせることが第一である。両病院の良いところを見つめて悪いところは省いて計画すること。	1	
	医師不足は救急患者のたらいまわしや医療過誤にもつながる。医師充足のため、医師の意思や大学医局教授の意向が優先される現状を打破する必要があると思う。	1	【本文の趣旨に一致】 若手医師をはじめ、医療従事者にとって魅力ある研修プログラムを提供するなど、医師等医療従事者に対する育成・研修機能の充実を図り、医師確保を図ります。（本文P21）
	循環器疾患は民間との連携が重要である。	1	【本文の趣旨に一致】 地域の医療機関との役割分担、連携強化により地域の医療機関と相互に協力し合い地域全体の医療の質の向上に資するよう努めます。また、都市型公立病院の統合再編のモデルとなるよう、民間病院との連携を強化します。（本文P19, 20）
	休日診療する医療機関が必要だと思う。	1	
	防災対策にはしっかり計画を立て、防災に強い建物を作って欲しい。 例) 津波対策として高層階に非常電源を確保、地域病院の被災状況を把握できるシステムづくり、防災棟をつくる、DMATなどの司令塔・待機室の確保、地震津波台風に強い建物 等	1	【本文の趣旨に一致】 ご意見を踏まえ、基本計画に基づき、災害に強い病院となるよう整備を進めます。（本文P21, 23）
	津波に耐える高さや気候変動による強風に耐える強度が必要と思う。阪神大震災では長期間、水道の障害に悩まされた。井戸の設置を計画されているか。	1	
<b>2 新病院の診療機能等（6件）</b>			
	救急医療について西宮市2次輪番病院の連携を重視すること。	1	【本文の趣旨に一致】 基本計画に基づき、阪神圏域の救急医療に対する救命救急センターとして適切な医療を提供します。（本文P21, 23）
	24時間365日救急受け入れ可能な体制として欲しい。	1	
	阪神北部の救命救急については、新病院だけでなく、尼崎総合医療センターや大阪、神戸等に分散することになり、現状と変わらないことになるのではないかと。救命救急は、一刻を争う。北部地域にこそ県立の救命救急センターを配置すべきである。	1	【対応困難】 統合新病院は西宮市域のみならず、阪神圏域全体の医療もカバーするよう機能を充実させます。 それに加え、阪神北部地域の救急医療に関しては、市立病院の統合再編が進められていることも踏まえ、圏域の調整会議で議論されると聞いております。
	地域包括ケアの観点から、新病院には医療と介護の連携の受け皿・研修機関であることも必要と考える。近隣市の取り組みも参考に、市民への知識を提供し、活動を支え、介助者への研修機能を提供することも公立病院の使命の一つと考える。	1	【本文の趣旨に一致】 統合新病院では、在宅医療等との連携を図るとともに、住民向け講座の開催なども検討しています。（本文P24）
	開院後の院内ボランティアについて。通常のボランティアに加え、小児病棟やクリスマス等各種行事に対するボランティアを市民に募集してはどうか。	1	【本文の趣旨に一致】 ご意見も踏まえ、西宮市民の皆さんがボランティアとして参画するなど統合新病院に親しみやすい仕組みを検討します。（本文P24）
	「5事業への対応」（本文P23）を読むと、災害医療の充実のひとつとして、応急収容のための転用スペース確保、消防との連携強化等を行うとしているが、救急ワークステーションのようなものを併設すれば良いのではないかと。	1	【今後の検討課題】 救急ワークステーションは、救急隊が通常業務を行いながら、医療機関と連携して隊員教育やドクターカーの運用などに取り組む施設で、救急隊員の資質向上による救命効果や災害対応力の向上等が期待できると言われています。一方で、設置に当たっては多額の整備費用を生じることから、救急需要の今後の動向や設置による効果の検証など、必要性について十分に検討したいと考えております。

項目	意見等の概要	件数	県市の考え方
<b>3 診療規模・体制 (32件)</b>			
	新診療科（心臓血管外科、免疫内科 など）の設置。	1	【本文の趣旨に一致】 これまで両病院が提供してきた診療機能を継承するとともに、今後患者の増加が見込まれる循環器、呼吸器系の体制の充実を図ります。（本文P25）
	超高齢化に伴い様々な口腔疾患、全身疾患を伴う口腔疾患の治療、全身疾患の予後を左右する口腔機能管理の需要は増大している。そのためにも複数の歯科医師と歯科衛生士による充実した診療体制を持った歯科口腔外科が必要である。	17	【今後の検討課題】 統合新病院では引き続き歯科口腔外科を設置し診療にあたります。口腔の健康が全身の健康につながることは認識しております。いただいたご意見をふまえ、今後、各部門の詳細な診療機能を協議していくうえで、対応を検討します。
	統合新病院の機能として、口腔外科を作るのであれば、民業を圧迫しない、公平な医療を行うことを望む。（歯科については行わない、ガンや飛び降り、交通事故など入院が必要な口腔外科に特化するなど）	1	
	救急搬送を余儀なくされる患者を予防的に減らすため、循環器内科や糖尿病を治療する内科へ口腔管理の重要性をご理解いただき、歯科受診を患者に勧めるよう啓蒙して欲しい。歯の健診は高齢者の医療費を削減するデータもある。将来的には病院内全体で口腔管理の重要性を市民、県民に啓発していただけるような体制を築いて欲しい。	1	
	西宮歯科総合福祉センターで行っている障がい者歯科診療、休日応急診療、訪問歯科診療の機能を統合新病院の機能とすることを検討してください。医科歯科連携が進む今、絶好の機会と考える。	1	【今後の検討課題】 統合新病院では引き続き歯科口腔外科を設置し診療にあたりますが、高度急性期・急性期医療を担う病院となります。診療体制や機能については、ご意見も踏まえ、関係機関と協議し、対応を検討します。
	新病院に隣接して現在の西宮歯科総合福祉センターの機能を持った施設を建てていただきたい。新病院と隣接することにより、歯科休日診療時の救急対応、障がい者診療時の救急対応・紹介等スムーズに行いやすいと考える。	3	【対応困難】 統合新病院敷地内に西宮歯科総合福祉センターを併設する予定はありません。
	病床数500床未満が運営上妥当だと考える。	1	【対応困難】 阪神圏域、特に西宮市は他の地域に比して高齢者人口の増加割合が大きく、今後も医療需要や高齢者の救急搬送の大幅な増加が見込まれる地域ですが、増加する患者に対しては、①地域の医療機関と十分に連携、②統合新病院の病床利用率を高めて効率的に運用して対応することとし、現在の計画病床数としており、地域医療構想調整会議の合意も得ています。
	全科揃った病院であり、病床数は1,000床	1	
	稼働率を85%から90%程度にまで増やすことで採算のバランスを取っているが、机上の空論と言わざるを得ない。病床を減らすより、民間病院の経営が成り立つような独自措置を県市がとるべきである。 稼働率90%にするために、スタッフがどれほど厳しい労働環境に置かれるか理解していない。現時点でさえ、すでに少子化で病院で働く全分野で有効求人倍率は高くなる一方である。90%に高めるといふなら、こうした問題をどう解決するのか、計画の中で具体的に示さなくてはならない。そのこと抜きでは、最初から経営上の問題が生じるリスクを内包することになるのではないかと。	1	【その他】 阪神圏域は、他地域に比べ患者数が大幅に増加すると見込まれるエリアですが、増加する患者に対しては、新病院と地域の医療機関が十分連携して対応し、新病院が担う増加患者は、病床利用率を90%程度に高め効率的に運用することで対応します。また、新たに患者総合支援センターを設置し、入院前から退院まで連続した患者支援を行うなどにより病床コントロールをさらに効率的に実施し病床利用率向上を図ります。また、他の統合事例でも病床稼働率が90%前後に達していることを踏まえ、今後スタッフの確保に努めてまいります。

項目	意見等の概要	件数	県市の考え方
	運営費の市の負担が多すぎる。5分の1くらいが妥当	1	<p>【その他】</p> <p>統合新病院を県立県営としたのは、県下に13病院を擁し、コスト面や人材確保の面でスケールメリットがあり、経営基盤も安定しているためです。統合新病院は原則として市立中央病院の診療機能を引き継ぐこととしており、診療報酬のみで賄うことが困難な救急医療や小児医療など不採算部門の医療にかかる経費などの一部を市が負担することとしました。費用負担の割合は、両病院の稼働病床数を基本とし、県：市＝2：1としました。用地については、過去の病院統合事例において、中核市については地元自治体が準備してきた経緯も踏まえ、今回は市が負担することになりました。なお、将来病院用地として供されなくなった場合の用途については、原則として市に委ねることとしています。</p> <p>県立西宮病院3号棟跡地については、今後、市の本庁舎周辺の公共施設再編整備において有効に活用できることから、市で購入することとしたものです。</p> <p>また、現在両病院を利用されている患者の7～8割が西宮市民であり、統合新病院においても、同様の利用が見込まれることから、県立県営の統合新病院の運営に対して市の意見を反映できる仕組みを設けたものです。</p>
	県立病院と市民病院が統合する筈が、何故、県立病院に市民病院が吸収される形となるのか、まったく理解出来ない。その上、用地費は全額市が負担。整備費も1/3負担。しかし、運営上の発言権は形式的に僅かな市職員（それも病院経営のノウハウもなく、派遣終了後もそれらの経験を生かす場もない）が派遣されるだけで、事実上、担保されない。	1	
	統合病院は県立県営とあるのに、西宮市が毎年3分の1の運営費を負担し続けなければならないのなぜか。西宮市民は県民税も多く負担しているのに。同じく用地取得費も残額を全額負担するのに県立西宮病院3号棟の跡地を西宮市が買わないといけないのはなぜか。理解できない。	1	
	毎年の経常損失が5億円近いからといって4.5億円を市税から補填するというのはおかしい。県立病院というネーミングなら県の予算で運営すべきである。何か市民にアドバンテージがあるのか。ほぼ県に握られた運営になる可能性があり、西宮市としての経営努力があるとすればそれもできない、反映されない。確かに統合基本計画案に市として関わることができる的な文言はあるが果たして疑問である。県立病院の経常利益が増加した場合は4.5億円の負担軽減という取り決めがあるのか。なければ県に認めさせなければならない。	1	
	県立西宮病院に合併吸収され西宮市立中央病院の名称も消え去り、市民にとっては市民病院がなくなり県立病院だけが残るイメージが大変強い。ましてや運営費の一部を市が負担するのであれば両病院を統合する必要があるのか疑問。老朽化している市立中央病院をなくし、県立西宮病院だけでアサヒビール工場跡地で運営してもらえばいいのではないか。統合ありきで進めるのであれば、ぜひ西宮市民代表の市議会議員の意見を尊重して聞いて欲しい。	1	
<b>4 部門別基本計画（15件）</b>			
	薬はかかりつけ薬剤師・薬局にチェックしてもらえよう、病院内に処方せんFAXコーナーを作って、地域のかかりつけ薬局でもらいやすい設計にして欲しい。	3	<p>【今後の検討課題】</p> <p>ご意見も踏まえ、調剤のあり方について、今後の運用や設計において検討します。</p>
	かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師が推されるなかで、敷地内薬局は時代に逆行すると思う。高度医療は新病院で受けるとしても、生活する地域に見守られるシステムは大事である。地域でその人自身が相談出来たり、入院退院在宅をスムーズにいくためにも、医療相談局として、住宅近くの保険薬局が管理するシステムづくりが必要である。	1	<p>【その他】</p> <p>薬局のあり方については、地域包括ケアシステムの趣旨に則り運用を進められるよう、関係機関と協議し、今後検討してまいります。</p>
	県立西宮病院と西宮市立中央病院の早期統合を希望する。高齢化社会から超高齢化社会になり、ますます医療の充実が望まれる。特に悪性新生物、脳血管障害におけるリハビリテーションの必要性はとても重要だと思う。1日も早く元の生活に戻るには術後のリハビリテーションはとても重要である。兵庫県下、いや全国に誇れるリハビリテーション科の充実を望む。有望な多くの理学療法士、作業療法士の先生方達の確保、教育などを充実して欲しい。	1	<p>【本文の趣旨に一致】</p> <p>ご意見を踏まえ、急性期患者に対して適切なりハビリテーションが受けられる体制づくりに取り組みます。（本文P31）</p> <p>なお、術後リハビリテーションに関する具体的な機能・体制は、各部門のより詳細な診療機能を検討する中で、充実した診療体制を構築できるよう、対応を検討します。</p>
	高齢者の増加が予想され、健康寿命の延伸のため、フレイル予防が重要と思われる。現在西宮市では嚥下機能が低下している高齢者も増えている。早期の摂食嚥下リハビリを通院で行える病院を作って欲しい。	1	
	患者数が限定される疾患の患者会の運営は、継続が難しい現状にある。近年の治療成績の向上により、通勤・通学しながら治療継続をしている方が増えているが、これらの患者が参加出来る相談窓口や患者会は極めて少ない。病院の応援のもと、病院のなかに誰もが利用できるスペースや相談出来る場所があればと思う。県内初となる支援システムの構築をお願いする。	1	<p>【今後の検討課題】</p> <p>患者会は、現在の両病院でも患者やその家族が自主的に集まり、交流や相談を行う場となっており、病院はその場所を提供しております。ご意見も踏まえ、統合新病院での患者会との関わり方については、設計及び運用において対応を検討します。</p>
	基本計画案P29にある設置予定の周術期サポート業務の内容について、歯科のある統合病院となるにあたり、地域完結型医療の構築に努めていただくよう、かかりつけ歯科へつなぐ機能の充実を希望する。	2	<p>【今後の検討課題】</p> <p>統合新病院では引き続き歯科口腔外科を設置し診療にあたります。診療体制や機能については、ご意見も踏まえ、関係機関と協議し、対応を検討します。</p>
	医療従事者の育成・研修の充実 県立西宮病院では医師の研究時間が十分に確保されておらず、研究論文の学会での発表機会が昔に比べて減少していると聞いた。病院勤務医の働き方改革が始まる。人員確保の制約もあるが、引き続き育成・研修にご尽力願う。	1	<p>【本文の趣旨に一致】</p> <p>ご意見も踏まえ、基本計画に基づき、医師等医療従事者に対する育成・研修機能の充実を図ります。（本文P33）</p>
	教育・研修、研究部門への対応の項目には色々と良い事が書かれている。文教住宅都市にのみやの名にふさわしい全国でも類を見ない立派な取組となることを期待する。	1	

項目	意見等の概要	件数	県市の考え方
	患者を第一に考え快適な療養環境が行えるようにして欲しい。 ・天井が高く明るい病院 ・消灯時間前後の車椅子トイレの混雑緩和 ・個人情報取り扱いの厳格化 ・受付や会計の方式 ・災害時、通常の病院機能を長期維持可能な体制 ・動作の悪い検査機器の入れ替え ・入院患者が快適に過ごせる環境づくり（食事、入浴、コイントレ、コンビニ、自動販売機、PC利用室・相談室の設置など） ・近年見られる患者による医師の選択、変更可能なシステム導入など	4	【今後の検討課題】 今後の設計や運用の検討において、各部門や諸室の詳細な機能、設備、環境や人員体制について検討することとなりますので、ご意見も踏まえ、患者及びご家族にとって安全かつ快適に過ごせる療養環境となるよう努めてまいります。
<b>5 情報システム・医療機器整備計画（1件）</b>			
	高額医療機器の購入にあたっては、事業費の増大、税金への圧迫、維持費の増大も考慮し、身の丈にあうように考えて欲しい。	1	【今後の検討課題】 西宮市域及び阪神圏域における高度急性期・急性期医療を担う中核的な医療機関としての機能を果たすために必要な医療機器を、費用対効果・業務効率化等の観点から最適な整備内容・調達方法を今後検討します。
<b>6 建物整備計画（37件）</b>			
	「今後増加が見込まれる循環器疾患・脳血管疾患患者に対する救急医療機能を強化する。」とあるが、これらの疾患は緊急な対応が求められるケースが多いため、ヘリポートの利用が不可欠となると考えられるが、本計画では、ヘリポートの利用の具体像が見えない。ヘリが多くなれば、近隣住民からの苦情が増える。そうでなくとも、新病院移転によって、救急車のサイレンに近隣住民は悩まされることになる。そこにヘリポートの音である。そもそもこの場所が適当とは言えないのでは。	1	【今後の検討課題】 統合新病院整備地のアサヒビール西宮工場跡地は、国道2号に面し交通アクセスが良好であり、また一定の面積を有する更地のため早期整備が可能であることから整備地として選定しました。 統合新病院はドクターヘリ基地病院を想定していないため、ヘリが常駐し頻りに医師がヘリに同乗し救急現場等に向かうような運用は予定していません。 参考に、尼崎総合医療センターでもヘリポートを整備していますが、現在のヘリ運用状況は月1～2回程度です。騒音対策を含む詳細に関しては、今後の設計において検討します。
	地域住民としては、市内に広い公園が本当になく、子どもたちの遊び場が減っていると切に思っている。病院・高齢者住宅の利用者と地域住民みんなが利用できる、広い公園の併設を希望する。	2	【今後の検討課題】 統合新病院の整備地であるアサヒビール西宮工場跡地には、病院整備用地26,000㎡とは別に約3,000㎡の公園用地を市が確保しています。ご指摘のとおり、病院利用者だけでなく地域の方にもご利用いただけるよう検討します。
	統合病院に行くアクセス改善を望む。市街地の北東部から循環バスなども検討して欲しい。	4	【今後の検討課題】 ご意見を踏まえ、患者の交通アクセス向上に向け関係機関等と協議をします。
	病院建設予定地の西側、JR神戸線と津門川沿いの通路が交差する地点について。この南北に走る道路は現在でも交通量が多く、通行環境が非常に劣悪である。歩道も無く、坂道になっているため特に歩行者、自転車利用者にとっては見通しが非常に悪い。自転車の逆走も多く、安全性に問題がある。新病院竣工の暁には西北方面、今津方面からの交通量の大幅な増加による渋滞、混雑が予想され、事故の増加も予測される。加えてこのエリアは南北の交通アクセスが非常に悪く当該道路に交通が集中することは確実である。現地調査のうえ、安全性向上のための車道、歩道、ガード防音の本格的な整備をお願いしたい。	1	【対応困難】 津門川左岸道路（市道西第311号線）の国道2号からJR東海道本線までの歩道整備については、当該道路に面して立地する工場の用地買収や建物移転が伴うことから、事業を具体的に検討する段階には至っておりません。 また、現況の道路幅員内での歩道設置等についても、幅員が狭小なことから事業化は困難と考えます。
	西宮北口方面からの道路の混雑が予想されるので、道幅を広げたりつなぐ等の整備をして欲しい。	1	【今後の検討課題】 今後、病院へのアクセス方法や周辺道路の交通状況などを把握し、必要となる病院周辺道路の対策について、関係機関と協議します。
	阪急電車国道駅ホームより直通改札等の新設を望む。	1	【今後の検討課題】 患者及びご家族の病院アクセス向上に向け、関係事業者とも協議してまいります。
	阪神沿線から阪神国道駅に行く場合、今津で乗り換えの時に、たった一駅ですが初乗り運賃が適用され、運賃が倍近く高くなる。阪急阪神ホールディングスに阪神・阪急間の初乗り運賃撤廃を働きかけていただけないか。 今まで阪神西宮駅の駅前に病院があり、特急も止まり、とても便利であったのに、病院が移転すれば特急も止まらない今津駅で乗り換えとなり、さらに一駅の為に、初乗り運賃も別途とられ、阪神沿線の人は移動面・交通費用面でも、とてもハンディになる。	1	【対応困難】 民間鉄道事業者の運賃は、それぞれの企業体として設定されているものです。 いただいたご意見については、事業者へお伝えします。
	新病院は交通アクセスも良く自家用車の使用を極力控えさせる工夫と、駐車場計画については、通院時に入車待ち時間で予約時間に間に合わないこともあるため、入院患者には自家用車を全面禁止にすべきである。	1	【対応困難】 入院中間中の長期間にわたる駐車場利用はご遠慮いただくようお願いしていますが、患者それぞれの事情等があるため入院患者のみ一律に自家用車の利用を禁止することは出来ません。 なお、統合新病院では来院患者数を推計したうえで必要な駐車場台数を整備し、駐車場の入車待ちが極力生じないように努めたいと考えています。
	駐車場の経営を民間には任せて欲しくない。	1	【対応困難】 病院機能に直接関わらない分野に関しては、民間事業者の資金とノウハウを活用して、財政負担の軽減を図るとともに、良質なサービスを提供するものです。

項目	意見等の概要	件数	県市の考え方
	<p>駐車場代金が高額にならないようにしてほしい。</p>	<p>1</p>	<p><b>【今後の検討課題】</b>            統合新病院の立体駐車場については、PFI等民間事業者の活用を検討しており、駐車場料金については近隣駐車場料金を踏まえ民間事業者において決定されることとなります。</p>

項目	意見等の概要	件数	県市の考え方
	災害対応として、地域の防災拠点となるべく、台風や地震等有事の際にも必要な行政機能が維持継続され、また県民の方々の緊急避難場所として機能するよう、エネルギーセキュリティ向上への取組み、必要な機能の導入、講堂等の多用途への使用等について検討をお願いします。	2	【今後の検討課題】 ご意見を踏まえ、基本計画に基づき、災害に強い病院となるよう整備を進めます。導入設備等具体的内容については、今後の設計において検討します。
	環境にやさしい設備（太陽光発電、節水装置等）、建物計画として欲しい。	2	【本文の趣旨と一致】 建物の整備にあたっては、ライフサイクルコストや環境負荷にも配慮します。（本文P37） 具体的整備内容については、今後の設計において検討します。
	看護学校を併設してはどうか。	1	【対応困難】 県立病院では看護専門学校の設置・運営は行わないこととしています。なお、民間等が設置する看護学校の実習受け入れに関しては、統合新病院においても引き続き行います。
	吹田市健都プロジェクトでは病院横に「イノベーションパーク」がある。西宮市でもこのような取組を参考に市民にとっての医療・健康関連の場や、健康寿命の延伸に資する場を作ってはと考える。立体駐車場の下層階などを活用してはどうか。	1	【対応困難】 立体駐車場棟の下層階については、利便施設での活用を予定しており、ご提案の内容については現段階で予定しておりません。
	患者利便施設として入院患者の理容や病室への出張ケアサービスなどを行う理美容店を設置して欲しい。	2	【今後の検討課題】 病院附属施設（立体駐車場等）の整備については、民間事業者の資金とノウハウを活用して、財政負担の軽減を図るとともに、良質なサービスを提供することとしています。駐車場棟整備の際、患者や家族にとって利便性のある施設の整備も見込んでおります。患者ニーズ等も見極めたうえで、今後の設計及び病院附属施設（立体駐車場等）整備にかかる要件について検討します。
	理容室設置とは別に、駐車場棟利便施設にがん患者向け医療用ウィッグ展示・試着が可能で、患者や家族の日中の憩いの場としても使用できる『アピアランスサポートルーム（仮）』を設置してはどうか。	1	
	広い駐車場が必要。病院内か敷地内にカフェやレストランがあると良い。	1	
	「かかりつけ薬局」でなく敷地内薬局で調剤されているのは地域包括ケアが実現できないのではないかと。高齢者が入院時に必要なものを購入出来る施設を民間事業者を活用して設置して欲しい。	2	
	駐車場棟の1・2階は市で有効活用したら良いのでは。地域交流拠点や保育所など活用方法を検討して欲しい。	1	
	敷地内駐車場を含む利便施設の整備手法がPFI等民間事業者に委託するとなっている。過去の例を見れば、利便施設には、公募により薬局誘致がなされてきた。大半が大手薬局チェーンの資本力を元に入札されてきた経緯がある。県市統合の病院においても、薬局の存在は重要なものになると考える。当然、薬局には災害時における薬剤備蓄、避難所・救護所支援、教育機関との連携による薬剤師・学生の育成、地域包括ケアシステムにおける多職種連携の拠点となる事も含め本市の医療・介護・福祉のあり方を理解している事が最重要であると考え。利便施設は、PFI方式・プロポーザル方式で県・市には関係がないと考える事なく経営理念、医療提供施設としての使命を最重点と考えていただきたく要望する。	4	
	立体駐車場の利便施設について、民間に委託した場合、入札すると結局、西宮や兵庫に縁もゆかりも無い大手が入り地元には全くメリットがない。業者の選定は熟考をお願いします。	4	
	「病院附属施設（立体駐車場等）の整備は、PFI等民間事業者の資金とノウハウの活用を検討する。」とあるが、災害の際には、これら駐車場にも多数の患者等が押し掛けたり、医療関係の救援物資等を置く場となることは、阪神淡路での両病院の経験からも明らかである。附属施設と言っても、もともとこのようなリスクの高い事態を想定したPFI契約はあり得るのか。大いに疑問である。関西国際空港の台風被害の際、契約に想定されていなかったことを思い出せば、こうした問題にどう対処するか、明らかにすべきである。	1	
	市立中央病院の現在地での継続、高層化による建て替えを望む。計画地の国道2号線沿いに移転統合すると以北の大きな病院がなくなる。南には私立ながら963床の兵庫医科大学病院もあり、県立病院もある。まだ阪急電車の高架化も進んでおらず、南北分断に近い。救急能力の高い市立中央病院がなくなるのは不安がある。また大袈裟に言えば市としてのサービスの南北差別であろう。市民に均等に近いサービスを求める。総合運動場も移転という案があるが、そこに新病院を建設できないのか再度見直す必要もある。	1	【対応困難】 統合再編の目的は、高齢化に伴い今後増加が見込まれる医療需要に対応し、市内及び阪神圏域の医療環境の向上を図ることです。アサヒビール西宮工場跡地は、国道2号に面し交通アクセスが良好であること、一定の面積を有する更地のため早期整備が可能であることから、整備地として選定しました。
<b>7 整備スケジュール（1件）</b>			
	命に関わる必要なものは早く作って欲しい。新病院は診療科も増えるなど住民にはメリットが大きく、また、県民税も市民税も払っている立場としては、色々と手続きがあるとは思いますが、出来るだけ早く作っていただきたい。	1	【今後の検討課題】 過去の病院整備実績も踏まえ、出来るだけ早期に開院出来るよう整備を進めます。

項目	意見等の概要	件数	県市の考え方
8	現病院の資産活用（9件）		
	県立西宮病院跡地へ県立リハビリテーション中央病院の移転を検討して欲しい。リハビリという通い続けないと成果の出ない病院は通院しやすい場所の方が良く、また通いやすければ稼働率が上がり収益実績もあがる。病院経営のあり方として再検討願う。	1	【対応困難】 県立リハビリテーション中央病院は、本県におけるリハビリテーション医療の中核病院として、高度で専門的かつ総合的なリハビリテーション医療を提供するとともに、総合リハビリテーションセンター内の福祉施設や社会・職業リハビリ施設等と連携し、入院から社会復帰までの一貫したサービスを提供するために現在地に設置していることから、移転は困難です。
	現県立西宮病院の跡地利用については、本館及び2号棟は民間に売却検討ということだが、本来、新病院の跡地を西宮市が負担するならば、県立西宮病院の跡地を等価交換するという選択肢は当然あり得た筈である。この問題は、今からでも対応可能である。民間に売却するという選択が県民、市民にとって適切なのかどうか、県及び市当局の説明責任が問われている。	1	【その他】 用地については、過去の病院統合事例において、中核市については地元自治体が準備してきた経緯も踏まえ、今回は市が負担することになりました。なお、将来病院用地として供されなくなった場合の用途については、原則として市に委ねることとしています。 現・県立西宮病院跡地については阪神西宮駅前という大変立地の良い場所にあり、その活用方法については、県市で検討を行い、市の本庁舎周辺の公共施設再編整備において活用意向のあった3号棟は市へ売却し、市において活用予定の無い本館・2号棟は資産の有効活用を図る観点から民間売却を行うこととしたものです。
	市立中央病院の跡地について、医療機関の誘致を基本とする事に賛成だが、どのような医療機関を誘致するのか、統合再編された病院との役割・機能分担まで踏みこんだ基本計画として欲しい。地域医療の中核となる総合病院のサテライト機能を持った公立の診療所を跡地に建て、民間医療機関との複合構成にすることができないか。	2	【今後の検討課題】 市立中央病院の閉院に伴い、地域医療への影響があることは地域の方との意見交換等を通じて確認しており、今後、民間医療機関の誘致を中心に検討します。 一方、市の財政上、市立中央病院の土地の価値に見合った活用（資産の有効活用）が必要となりますので、引き続き、民間医療機関の参加意向や諸条件などを調査し、実現性を検討します。 役割分担としては、高度急性期・救急医療を提供する統合新病院と連携し、患者さんを当該地域でサポートするような体制が望ましいと考えています。 なお、公立の医療機関を整備する予定はありません。 救急医療については、外来で対応できる比較的軽症の場合は、市内の医療機関や西宮市応急診療所、近隣市とも連携して対応しています。救急車による対応が必要な場合（休日の眼科診療を含む）は、県立西宮病院や市立中央病院など複数の救急受入れ可能な医療機関により輪番制で対応しており、統合新病院もその役割を担うこととなります。
	市立病院の跡地利用だが、西宮市の北東部に市民が安心して受診出来る病院がなくなるため、同規模の病院の誘致等、この地域の住民の利便性を低下させることのない措置をとることが必要である。	2	
	中央病院跡地には多科目の連携が可能となるよう、なるべく多くの診療科が入っているクリニックセンターを作って欲しい。	1	
	超高齢化に対応する等、中央病院跡地に回復期・慢性期に対応可能な病院、施設が必要。	1	
	中央病院跡地には救急医療センターを作って欲しい。休日の眼科は尼崎の「休日夜間救急診療所」しかなく、子供が目をついたなど一刻を争う時どうするのかと思う。人口50万人に近い都市でこういう施設が無いのが考えられない。	1	
9	その他（12件）		
	統合に向けての中央病院ホームページを拝見したが見難い内容である。もっと活用されてはどうか。	1	【その他】 今後、情報を見やすく探しやすい表記・構成を心がけて、メンテナンスします。
	両病院の統合により西宮市北部の公的病院はこれまでどおり済生会兵庫県病院、宝塚市民病院等にならざるを得ないと思われる。現在、三田市民病院と済生会兵庫県病院との連携協議が進められており、その結果によっては済生会兵庫県病院が現在の場所から移転しないのか、診療科目が減らないか等々の不安がある。そこで、今回の両病院の統合再編によっても済生会兵庫県病院が西宮北部の公的病院の一つであることを明記して欲しい。	1	【対応困難】 本計画は県立西宮病院と市立中央病院の統合再編基本計画であるため、特定他病院のあり方に言及することは困難です。
	兵庫県、西宮市として住民の意見を反映するため三田市民病院と済生会兵庫県病院の連携協議に参加して欲しい。	1	



項目	意見等の概要	件数	県市の考え方
	計画書には新病院計画の建築規模、診療規模やその内容などが詳細に記載されているが、収支予想に関する記載がない。現状の両病院についての経営状況は記載されているが、この資料から収支は予想できない。公立病院であっても、正確な収支予想がなされるべきである。仮に赤字が予想されるのであれば、事前に黒字化の対策を検討したり、赤字が予想される理由を丁寧に説明し、県民の理解を得る必要がある。	1	【その他】 収支見込みについては、整備規模により異なることから、当初予算案も踏まえ精査します。
	看護師、介護士等の入職にあたり地域への配慮をお願いする。	1	【今後の検討課題】 統合新病院の医療職種の採用にあたっては、地域の医療機関に十分配慮のうえ計画的に進めます。
	現在、両病院ともに歯科衛生士がいいため専門的な口腔ケア部分で遅れがみられます。歯科衛生士の雇用を是非お願いしたい。	1	
	看護師配置について。準夜勤勤務の看護師が少人数であり、その時間帯はナースコールが鳴りっぱなしで担当看護師が走りまわっている。病院全体での配置や勤務時間帯の適正人員の確保が必要である。	1	【今後の検討課題】 患者が適正な看護を受けることが出来るよう、今後の運用検討において看護体制を検討します。 なお、県の現行制度では、60歳の定年後、65歳まで雇用延長する再任用制度があります。再任用にあたっては個々人の希望や能力等を勘案し、患者の皆さんが安心して療養できる体制となるよう努めます。
	人材の有効活用 卓越された技術をお持ちの看護師を一律に退職させず専門職として雇用延長出来ないか。貴重な看護師を専門職として雇用延長をお願いする。	1	
	病院内での院内処方も検討する。どうしても院外処方にするのなら調剤報酬が西宮市の会計に入るよう（西宮市の収入）にする。西宮市の財政は病院がある限りプラス方向になると思う。	1	【対応困難】 院外処方を予定していますが、調剤のあり方について今後の運用や設計において対応を検討します。西宮市の会計に入るような仕組みを設けることは困難です。
	今後、高齢化が進むなか、入院説明の出席者を「親族に限る」のは相当な困難が起りえるのでは。新病院では誰でも容易に入院出来るようご検討いただきたい。	1	【今後の検討課題】 統合新病院での運用については両病院で検討を行い、患者及びご家族が安心して診療を受けられる手法を検討します。
	市立病院で働く職員の処遇が全く触れられていない。民間企業における企業合併でも従業員問題は極めて大きな課題である。吸収合併方式であるため、処遇問題をはじめ、市立病院職員のモチベーションをどう上げていくのかという観点でも構想が必要である。さらに、非正規職員は正規職員とほぼ同数の約200名にも及ぶ。これら職員を雇止めすることは到底許されない。全員の雇用を確保すべきである。	1	【今後の検討課題】 平成31年1月に県市において締結しました両病院の統合再編基本協定に掲げる統合再編の基本方針の職員の処遇の項目に従い、両病院に勤務する職員がともに高い士気とやりがいをもって新病院で業務に従事することができるように配慮し、統合新病院の円滑な診療体制の整備に向け、職員の確保に努めます。
	そもそもパブリックコメントでしっかり意見を集める気が無いように思える。もっと私たち市民の意見を丁寧に集めて欲しい。	1	【その他】 パブリックコメントでいただいたご意見を参考にするとともに、今後も市民の意見を丁寧に集めるよう努めます。
	合 計	121	